

こんにちは

# みささ議会です

令和2 (2020)年

# 10月号



## 主な内容

- 9月定例会・一般会計決算を審査 … 2～3
- 常任委員会で慎重審査 …………… 4
- 議員7人が一般質問 …………… 5～12
- 議案の賛否 ……………13
- 大好きみささ町 ……………14

## 三朝中学校修学旅行

～三朝温泉を楽しむ～

# 一般会計決算審査特別委員会

9月15日に一般会計決算審査特別委員会（遠藤勝太郎委員長）を開催しました。この委員会は5名の委員で構成され、総務教育・産業民生常任委員会で審査した一般会計決算の内容を、さらに細かく審査するものです。その結果、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

## 令和元年度 一般会計決算を認定

### 鳥獣被害総合対策事業費補助金

- 問 鳥獣被害は拡大の一途で、予算枠がなくなると対応できないではなく、緊急枠を取り入れて対応すべき。
- 答 イノシシ、シカの捕獲奨励金を増額したこと、降雪が少なかったこと等により、個体数捕獲の増につながった。貸し出し用電気柵を増やすなど、緊急対応をして防ぐことも大事。次年度に向けて考えたい。

### 危険家屋対策事業

- 問 空き家が増える状況で危険家屋の対策事業はなされているが、それ以外の空き家対策について今後どのような対策をしていくのか。
- 答 空き家は328戸で、そのうち危険と判断されるものが



町内の危険家屋

85戸あった。三朝町空家等対策計画に基づいて対応していく。国の空家対策総合支援事業を要望しており、解体等の予算確保に努めたい。

### 多目的駐車場管理費

- 問 利用者数は横ばい。コロナ禍における観光対策として、昼間だけでも無料にして利用促進につなげる考えはないか。
- 答 無料にして利用を伸ばすよりは、来ていただくためのイベントを充実させて誘客を図りたい。

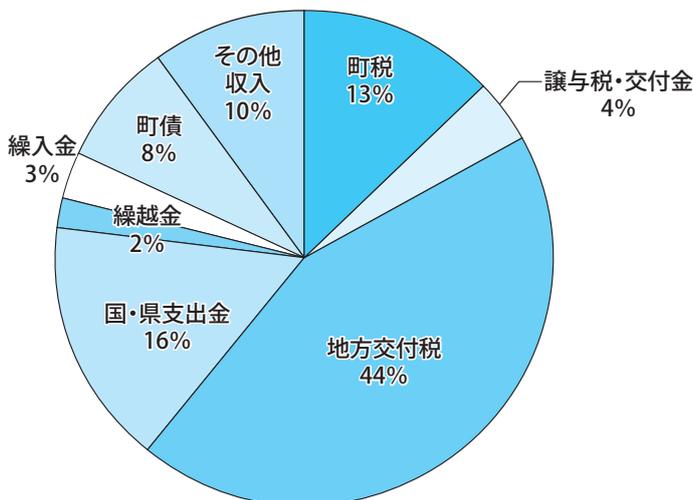


多目的駐車場

### 保育所費

- 問 竹田保育園園児は近年10人前後で推移しているが、年々減少している。今後の運営方法は、併せてみささこども園の今後について、職員体制も含めて方針は。

### 【歳入】 50億869万円



歳入内訳		(万円)
町	税	65,932
譲与税・交付金		19,363
地方交付税		221,321
国・県支出金		81,275
繰越金		11,151
繰入金		16,118
町債		39,210
その他収入		46,499
計		500,869

**答** 保育施設のあり方検討会の答申のとおり、今後の園児数の減少に合わせて統合について検討。みささこども園は指定管理の応募がなく、町営で運営を継続。職員数については今後施設の方針を検討する中で併せて検討する。

### 移住定住促進事業

**問** 45歳以下を対象に住宅改修一部助成しているが、移住定住の促進を図るため、年齢要件の引き上げを図るべきでは。

**答** 住宅取得支援補助金は住宅を新築購入する方を対象。改修や賃貸物件は対象外。対象年齢を5歳引き上げたばかりであり、様子を見たい。

### 林道管理費

**問** 道路周辺の草刈りは定期的に行われているが、側溝の管理が行われておらず崩壊につながっている。法面の立木も通行の障害になっている。適切な管理が必要。

**答** 道路パトロールで点検しながら危険箇所を優先して対応。今後森林環境贈与税が配分される。有効活用しながら林道管理に努めたい。



適切な林道管理を

歳出内訳	(万円)
議会費	7,913
総務費	66,742
民生費	135,600
衛生費	22,805
農林水産業費	46,630
商工費	26,107
土木費	25,741
消防費	16,320
教育費	40,134
公債費	49,204
災害復旧費	10,250
諸支出金	37,817
計	485,263

### 消防団活動費

**問** 消防団員の活動はしっかりなされているか。また、新型コロナウイルスの影響を受けまいよう、消防団員への対策を万全にし、活動に支障がないようにすべき。

**答** 令和元年度の消防団の行事は計画どおりに行うことができた。今年度は新型コロナウイルスの影響により、各班ごとの活動が中心。機動班にはマスクや消毒液を配布している。

### ナラ枯れ被害対策費・道路維持修繕費

**問** 国・県道及び町道での倒木等に対応する部署はどこか。道路沿いで人的被害が出ないように、ナラ枯れ被害対策による安全対策の充実をすべきでは。

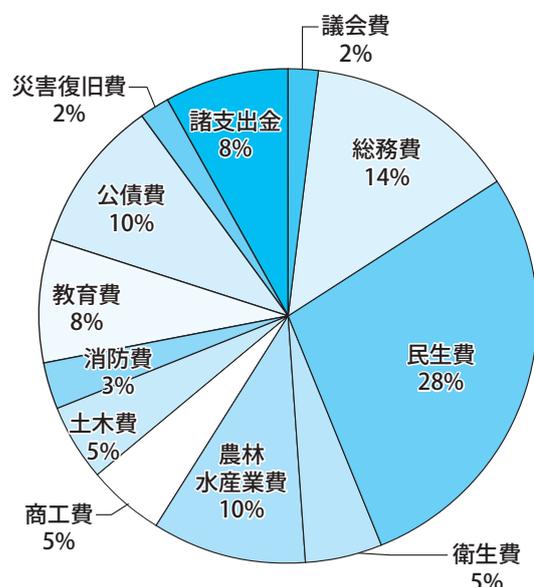
**答** 道路の倒木は道路管理者に維持修繕義務があり、道路からはみ出した樹木等は道路管理者が所有者に処理をお願いする。また、ナラ枯れ被害対策として、補助率を1/2に引き上げて対応している。

### 国民宿舎（ブランナール）について

**問** 指定管理期間の5年間で令和3年度までとなっている。今後、売却を含めて検討していく必要があると考えるが、今後の方針は。

**答** コロナ情勢の中で、まずは事業継続が大事だと考えている。指定管理導入の際、将来的な売却も視野に入れてと言っており、その方向で協議を進めていきたい。

### 【歳出】 48億5,263万円



# 常任委員会で慎重審査

委員会における主な質疑

## 総務教育常任委員会

### 防災活動支援事業（新型コロナウイルス感染対策）356万円

**問** 可動式仕切り板を一気に60台整備する必要があるか。

**答** 可動式の利点を生かし、町総合文化ホール他の避難所へも移送しプライバシー確保や3密を避ける。



健診会場受付の様子

### プレミアム付き商品券（低所得者）事業費

**問** 住民税非課税者の区分の方で購入者が2割ほどにとどまった。結果の分析をしているか。

**答** 国の実施要領に従い、手続きに手間がかかった為、購入に結びつかなかったと思われる。

### 特定健診の受診勧奨の外部委託について

**問** その必要性はあるか。

**答** 本町の特定健診の受診率は30%あたりで推移。町の目標値は60%で、受診率を上げたい思いがある。

### 不登校対策支援員

**問** 登校促進支援とは具体的にどのような事を行っているか。

**答** 不登校の生徒に寄り添って気持ちの聞いたり、家に迎えに行くなど担任教諭が主で支援員はフォローする形。

### 小学校施設整備

**問** 小学校施設等検討委員会の中間報告で、候補地に中学校敷地内の提案がされ、町民にパブリックコメントを募集されたが、パブリックコメントはいつ生かされるのか。

**答** 基本設計する上で生かしたい。

## 産業民生常任委員会

### 大学生等生活支援金給付金について 1,000万円

**問** 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、大学生等に生活支援金を給付する制度について、給付条件はあるか。

**答** 対象を大学（院含む）、短大、専門学校、高専（4、5年生）とし、自宅外からの通学生には5万円、自宅からの通学生には3万円を給付する制度。情報発信のための「ふるさとレター」会員になっていただくことを条件としている。

**答** 現在、国との調整を行っている段階であるが、現時点では電源立地交付金の活用を考えている。

### 公共交通再編実施事業 将来的な見通しは

**問** 公共交通再編実施事業計画では、既存の小河内線と穴鴨線を減便し、新しい輸送方法を構築するよう検討されているが、将来的には小鹿線や三徳線もこの対象となるものか。

**答** まずは小河内線と穴鴨線を先行し、その結果を検証していきながら次の段階につなげていきたいと考えている。

### 直売所魅力アップ事業 店舗改修には協議が必要 710万円

**問** 直売所（おひさま市）の所有者はJAである。運営管理方法等を所有者と協議し、明確化すべきである。

**答** 生産者の支援を行うための施設改修を行うものであるが、指摘のとおり所有者と協議し明確化したうえで事業展開に向かいたい。

### 高勢地区の拠点施設整備 活用財源は何か 3,349万円

**問** 高勢地区多目的ホール新築事業の財源は過疎債を充当するものか。



農産物直売所 三朝おひさま市

# 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

# あなたの声を 町政に

7人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限  
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
6	住民生活を守る取り組みについて	松原 成利
7	湯治の新しい取り組みを	山田 道治
8	「よりよい三朝町」を考える機会に	石田 恭二
9	今後の水田農業の在り方について	平井 満博
10	三朝温泉の危機的現状に対応する有効な施策を期待	山口 博
11	第3次三朝町の自立に向けた行動計画について	福田 茂樹
12	三朝町新型コロナウイルス感染症克服プロジェクトⅡについて	清水 成真

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、一般質問の録画放送を行っています。

## 問 住民生活を守る取り組みを

答 地域力も含めた支援等が必要

### 買い物や用事の支援は総合的な取り組みを

松原

奥部生活者には移動販売や通信販売、買い物や業務代行等は価値があるが、役場が中心となり協力事業者の開拓と支援等、総合的な仕組み作りが必要ではないか。

町長

地域包括支援センターを中心に作った「三朝町高齢者暮らしのお助け便利帳」により情報提供しており、関係事業者さんと各種生活支援メニューを紹介し、実際に買い物配達サービス3店、生協さんもサービス展開されている。

地形、財政、人材、マンパワー等に起因する対応不足な点は、一つ一つ仕組み作りを町や社会福祉協議会が担っていくものと思っている。一方でIoT活用による在宅でのサービスも研究したい。

今年度、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定する中で必要な施策、支援策を検討したい。

### 通信販売は基本知識の説明を

松原

通信販売等は詐欺等防止の観点から、行政が基本的な知識の説明や指導をすべきではないか。

町長

独居高齢者や高齢者世帯には、社会福祉協議会の訪問やデイサービス利用時に、町では保健師の訪問時に努めてコミュニケーションを取る指示をしたい。

### 移動手段の確保はどのように

松原

三朝町公共交通再編計画では、基幹路線の上井・三朝線と三朝線は、接続時間調整を行う一方で、穴鴨線と小河内線はデマンド運行の想定だが、小回りが利く点は有利であり、上井・三朝線と三朝線にもデマンド運行併用を検討すべき。

町長

検討しているデマンド運行路線や、提案されたデマンド拡大、住民ドライバーによる共助交通、タクシー共同利用はメリット、デメリットや、道路運送車両法等の規定を見極めながら検討している。効率的な運営体制を組むことで利便性を高める対応を考えている。

松原

既存バス事業者以外の新規参入による運行コスト抑制の考えはあるか。

町長

具体的な運行計画が詰まった時点で、許可、認可を持った事業者には声掛けし、参加の意向を確認したい。



役場を出発する  
小河内線路線バス



松原 成利 議員

### 住民ドライバーによる共助交通は

松原

NHKの番組で鳥取市河原町の住民ドライバーによる共助交通試験運行が紹介されたが、本町での可能性はあるか。

町長

以前、竹田地区で検討され、対象者90名とドライバー12～3名が挙がったが、事故対応が問題であり、積極的な思いは無い。バス事業者やタクシーに任せるべきと考える。

### 高額になるバス運賃の対応は

松原

奥部からのバス利用は運賃が高額になる一方で、本町の高齢者交通助成券は認定自体が難しいが、利用しやすいものにできないか。

町長

低料金での移動確保は担当課を含め協議を進めており、まとめれば提示したい。

## 湯治

## 問 温泉利用型健康増進施設を進めては

答 先進地を勉強させたい

## 施設の認定を受けるよう進めては

山田

温泉利用型健康増進施設に認定されると、温泉療養費が所得税の医療費控除の対象になる。進めては。

町長

認定を受けるには入浴施設と運動施設の両方を持たなければならない。有資格者の常駐、温泉療法医との連携が要り、ハードルが高い。

## 連携型も認められている

山田

平成28年に入浴施設と運動施設の両方は持たなくてよい連携型になった。

町長

交通費も医療費控除の対象になる。研究する必要がある。

## 温泉療法医だけでなくよい

山田

認定に必要な連携は、温泉療法医だけでなく、主治医や温泉療法専門医でもよいことになっている。

町長

温泉療法医等との連携に至るまでが難しいと思っている。

## 有資格者にラジムリエを

山田

温泉利用指導者の資格のハードルは高いが、ラジムリエでも可能だ。

町長

そういった人を育てていく必要がある。

## 新・湯治と連携するのは難しいのでは

山田

環境省は保養温泉地を何とかしようという考えだ。観光温泉地の三朝では連携は難しい。

町長

温泉を利用した運動ができるような日帰りの温泉施設が必要になってくる。

## 医療とリンクしない方法が増進施設だ

山田

温泉と医療がリンクしていない日本では温泉を使った医療は難しい。医療とリンクしないやり方が増進施設だ。どこかの施設の方たちと話をすべきでは。

町長

先進地に勉強に行かせたい。

## 旅館さんを施設と捉えては

山田

旅館さんを施設と捉え、近くのスポーツジムやプールと連携すればよいのでは。旅館等の団体に提案してみてもどうか。



山田 道治 議員



三朝温泉街

町長

参考材料として話は持っていけるが、あまり踏み込んでどうかと思う。

※温泉利用型健康増進施設とは、厚生労働省の定めた一定の基準を満たし、温泉と運動の組み合わせで健康づくりを行うことができる施設のこと。認定施設を利用して温泉療養を行った場合、一定の要件を満たせば、施設の利用料金、施設までの交通費については所得税の医療費控除を受けることができる。



今年オープンした熱気浴施設

## 問 よりよい三朝町を考える機会に

答 連携し取組みを進めることが重要

### 改善すべき諸問題等を再考すべき

石田

安定と成長を目指し続けてきた結果、解決できていない再整備計画、改善すべき諸問題等を、これからの経済・新生活様式にあわせて再考すべきだと思うが。

町長

今抱える課題について新しい解決への糸口を見つけていく、そのためには町民と連携をして取組みを進めることが重要だと思っている。アフターコロナに向けては様々な教訓を未来に生かすことが重要。

### コロナ対策予算の有効活用を

石田

国から予算を貰ったから助成するのではなく、いかに有効に活用していくか、町民や関係団体の意見を参考にして、観光資源や町民に与えていくことが必要では。

町長

第一期は自粛期をどう乗り越えられるか、緩和期6～7月からの施策については夏から秋に向けて、それを見ながら次に繋げる考

えはあったが、まだ実績は取れていないが、これまでの各キャンペーンだとかの状況を踏まえて、今回それをベースにして、もう一回それぞれの皆さんの方から提案していただいて作り上げたということになる。

石田

観光がこれだけ打撃を受ければ、今後財政も厳しくなると思うが、防ぐための何らかの対策は考えているのか。

町長

まだ不十分なところがあるかもしれないが、とにかく人に来てもらう、泊まってもらうという、これまでの一日平均1,000人のお客さんに戻す努力を最初にしてかからないと、町の経済は戻らないということを感じている。

### 観光事業の再考が必要

石田

観光協会を行政主導から民間に変え、観光地再生に成功した地域もある。今こそ原点に戻り考え直す時期ではないか。



石田 恭二 議員

町長

協会、組合の顔ぶれも替わってきたので、改めて本当に原点に戻って、これからの三朝温泉をどのように作っていくのか、それにはどのような体制が必要か、既定のルールにこだわらずに考えていく必要があると思っている。それは私の方から投げかけていきたいと思っている。

### 小学校跡地利用等

石田

今回のコロナ禍のなかで、大手企業などが企業運営の安定を図るために、拠点施設を地方に分散し、リスクを分散していく取組みが見られる。今こそ、町長に積極的にトップセールスを行っていただきたい。

町長

これまでやってきたトップセールスは、どちらかというと観光が主でいろんな所に出ていったという部分だと思う。改めてこれからの時代、地方にいろんな事務所が移っていく、リモート業務がなされるとか、テレワークが始まる、そういった中ではやはり企業との連携を繋げる必要があると思う。

石田

とにかく今こそ硬直した考え方を変えていく必要がある時期だと思う。



三徳川から見た三朝温泉の風景

## 農業

## 問 今後の水田農業のあり方について

答 危機意識を持って対応していきたい

## 中山間地域等直接支払交付金（以下、交付金）についての町長の考えは

## 平井

交付金制度が始まり、20年が経過したが、高齢化や担い手不足が進行している中、水田農業を通して集落を守る、過疎化させない意味で集落での話し合いが重要ではないか。

## 町長

国の政策もあり、次第に所得補償的なものになってきているが、集落の合意形成のもとで交付金を使えるような仕組みを、農家の皆さんと話しをしてつくっていききたい。

## 交付金を活用した集落営農はできないか

## 平井

制度の6期目に向けて、集落の農地は集落が守るという考え方の下に、交付金を活用した集落営農を促進する考えはないか。

## 町長

本町の農業を取り巻く環境の厳しさを実感している。本年度から、「人・農地プラン」の作成に着手しているが、集落の方や農家を継ぐ意欲のある方も含めて、交付金を活用した集落営農の促進ということを考えていくことは非常に大事なことだ。



## 集落営農に対する町長の思いは

## 平井

町長の集落、私の集落も法人による集落営農を行っているが、集落営農に対する町長の思いはどうか。

## 町長

難しい面もあるが、その地域や村、グループに合ったやり方で、皆さんで農業に取り組んでいく姿が、つくっていただければいいと思っている。

## グリーンサービスの位置づけはどうか

## 平井

耕作を放棄される農地が増加することが予想される中、グリーンサービスへの依存が増大していくと思うがどうか。

## 町長

地域農業を支える中核的な存在として、当初からその役割を持っており期待もされている。

今後、グリーンサービスでの人材の確保と業務の改善、そして効率化への財政的な支援も考えながら改革が必要だと考えている。



平井 満博 議員

## 水田農業の担い手対策は

## 平井

今後本町の水田農業は、担い手農家、耕作農家の高齢化により、グリーンサービスだけでは対応しきれない状況が来ると思うが、水田農業の担い手確保のための対策が必要ではないか。

## 町長

平成27年度から、認定農業者や集落営農組織などの意欲ある農家の方を主として水田農業の担い手育成に取り組んできている。グリーンサービスの改革や人材を育てるということは、なかなか難しいことであるが、これをしっかりやっておかないと、三朝町の観光を含めた産業というのは非常に弱くなると思っているので、努力してまいりたい。



集落営農による田植えと稲刈り

## 問 コロナ感染支援策はこのままで良いか

答 感染拡大を防ぎながら経済活動の持続策を

### コロナ感染問題下の三朝温泉の現状をどう見ているか

山口

コロナ感染者が発生していない三朝温泉ではあるが、この現状をどのように見ているか。

町長

関西圏からの観光客が多い三朝温泉は、何時感染者が出てもおかしくない環境だが、観光関係者の万全の感染防止努力で発生が抑えられていることに敬意を表したい。

### 国・県・町の支援策の効果は

山口

国・県・町が実施した各種支援策の効果をどのように見ているか。

町長

初期の自粛期、それ以降の事業者支援策はその役割を果たしていると判断している。また、国・県の支援策も充実してきている。

### 支援策の効果について事業者へのヒヤリングは

山口

一斉休業前に町長は各事業者に対してヒヤリングをされたが、支援策実施後の現状についてヒヤリングを実施されたか。きめ細かな支援策の策定には事業者のヒヤリングが重要と考える。

町長

旅館の大体の稼働率を聞いたところ、7割、8割は戻っているように思う。時期を見て、支援策効果など、その後の状況を聞いてみたい。

### 引き続き緊急的支援は必要ないか

山口

即効性のあるカンフル注射的な緊急的支援策の継続は必要ないか。

町長

事態は長期化しており、国・県の支援策も地域経済の復元、強靱化にシフトしており、町としても同様な取組みをしていきたい。

### 感染症克服プロジェクトⅡの役割は

山口

プロジェクトⅡは緩和期、回復期を目的としているが、引き続きウイズコロナ対策も必要では。

町長

今回のプロジェクトⅡ支援策は、第1次支援策を踏まえて、ステップアップさせるような形で内容を組んでいる。

### 三朝温泉でコロナ感染者が発生すれば風評被害が心配

山口

もし三朝温泉でコロナ感染者の発生があれば風評被害と言う壊滅的な被害を被る。



山口 博 議員

町長

町民の皆さんの外出自粛、感染予防の徹底など、家族、職場ぐるみで取り組んでいただいていることで本町でのコロナ感染の発生が抑えられている。万一発生しても当事者に対する誹謗中傷等を許さない町であると信じている。

### コロナ対策にラドン温泉のホルミシス効果の宣伝を

山口

コロナ対策として、三朝温泉の大きな財産であるラドン温泉のホルミシス効果の有用性について証拠を添えて大いに宣伝すべきだ。

町長

三朝温泉が多くの人に利用されているのは、岡山大学の研究成果などから、免疫力を高めるなどの期待感があると思う。

皆さんと一緒に頑張っ、元気に動く三朝温泉の姿をお見せしたい。



三朝温泉入口からの風景

## 政策

## 問 第3次三朝町の自立に向けた行動計画

答 行政改革の柱 民間で出来る事は民間で

## 子育て世代に、新たな町営住宅を

福田

今も払い下げを目的とした町営住宅はあるが、新たな町営住宅として、子育て世代を対象とした、売却目的の物件を造るべき。

町長

現状から判断をすると、払い下げに対する需要は少ない。民間の2LDKや3LDKは、町内でもアパートの空室があると聞いている。民間の活力の有効的な活用を考えていきたい。

## 子育て世代に、新たな宅地分譲を

福田

移住定住促進策として、町は子育て世代に特化した新たな宅地分譲を。

町長

昨年より、子育て世代への手当てを厚くした住宅取得等支援事業に取り組んでいる。

宅地分譲については、大瀬、牧、本泉といった事例のように、民間の活力に委ねるといった方が行動計画に沿った推進方策と考える。

福田

移住定住に特化した部署を作るべきではないか。

町長

今、限られた職員のスタッフで仕事をしている。課ではなく係という発想での努力はしてまいりたい。

## 新しい小学校施設は、中学校グラウンド以外の適地を

福田

行動計画では、小学校施設の施設整備を進める、中学校施設は小学校施設整備と併せて方針を決定、となっている。

私は、新しい小学校施設は定住対策の目玉と考える。今の執行部案、中学校グラウンドの新しい校舎を建てる事は、賛成できない。

町長

これまでの教育委員会等での検討結果を基に、利便性、安全性、小・中学校の連携、経済性、様々な観点から基本計画をまとめている。

福田

小学校のグラウンド、中学校のグラウンドはどうなるのか。



福田 茂樹 議員

町長

メインのグラウンドは、今の三朝小学校のグラウンドを小・中で併用。新たな小学校のグラウンドは、旧南小学校とほぼ同規模のグラウンドが校舎横に確保できる見込み。

活用においては問題がないという事を学校現場と調整して、確認している。

福田

今後の中学校施設の考え方を。

町長

近年の出生数の急激な減少は、これまでの想定を大きく上回って推移している。

将来を見通した場合、中学校単体ではなく、今回の小学校整備計画を進める過程で、将来的な小・中の同一校舎体系が望ましいと考えている。



町営住宅



三朝中学校グラウンド

## 問 保育料の完全な無償化を

答 新年度予算に向けて検討事項としたい

### 町民に身近な三朝温泉を

清水

三朝温泉誘客キャンペーンの旅館利用券キャンペーンだが、内容としては、抽選で毎月333万円相当の利用券を進呈とあり、6か月間、毎月1万円を333本進呈するというもの。これらの何割かを町民に応募していただき、旅館を利用していただけたらどうか？

町長

三朝温泉に宿泊をされた中で、抽選で来春以降使える利用券をプレゼントしていく。町民の方も対象となる。シーズンを越えての誘客を促進していきたい。

清水

町民が三朝温泉を守って行くんだ、という考え方についてはどう思うか。

町長

地域の皆さんに近い存在であるという三朝温泉を、やはり日常の中から作っていただくというもの

ある面では大事なことだと感じている。

清水

町民の中には三朝温泉を知らない方はたくさんおられる。だから、三朝温泉が危機に瀕していると思っても、「私たちが支えていこう」というような機運にならない。このキャンペーンは、一度宿泊しなくてはならない。そうなる今までと同じだと思う。まずは町民が三朝温泉を利用していただいて、「ああ、こういうようなお風呂があった。」「こういう食事がいただけた。」、そうすると、町民と三朝温泉が近くなると思うが。

町長

町民の方は、家族でゆっくりだとか、友人とゆっくりと三朝温泉に、というのは本当になかったなというふうに思っている。一番大事なところをもう一回、町民に、三朝温泉を身近に感じていただくということは改めて大事だというふうに感じている。



清水 成眞 議員

清水

私は宿泊するのではなく応募していただいて、そして三朝温泉を利用してもらう。三朝温泉を知っていただいて、近くに思ってもらおう。そして、三朝温泉を支えていくんだと、町民の意識高揚にもつながる、と思うが。

町長

組合等々に提案をしてみたい。

### 保育料の完全無料化

清水

コロナ禍の中で収入が減少した世帯もある。保育を必要とする3歳未満の子ども、つまり3号認定の家庭に対して、保育料の免除などの対策は取れないものか。

町長

新年度予算に向けて検討事項とさせていただきます。

### 家庭を支える施策

清水

一定期間でも町内の小・中学生の給食費の免除、教材費等の免除など、子育てしている家庭を支える施策を考えたらどうか。

町長

国の定額給付金等、影響のある部分に充当し、活用していただいております。



保育料の完全無償化を（「Facebook あったかみささでこそだて」より）

## 【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		松原成利	松原茂隆	石田恭二	吉田道明	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎	福田茂樹	平井満博	山田道治	牧田武文		清水成眞
(7月臨時会)														
町長提出議案名														
62	令和2年度三朝町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
63	工事請負契約の締結について（第6水源ポンプ場電気設備工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
(9月定例会)														
町長提出議案名														
64	令和2年度三朝町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
65	令和2年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
66	令和2年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
67	令和2年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
68	令和2年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
69	令和2年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
70	令和2年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
71	令和2年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
72	令和2年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
73	令和元年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定
74 ～ 83	令和元年度三朝町特別会計歳入歳出決算の認定について（10件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定
84	三朝町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
85	三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
86	三朝町基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
87	三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
88	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（大瀬地区下水道管渠改築工事（R1-1））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
89	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（大瀬地区下水道管渠改築工事（R1-2））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
90	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	同意
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	適任
議員提出議案名														
5	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
6	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
7	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※清水成眞議長を除く11名の賛否状況です。

## 【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択についての陳情	鳥取県高等学校教職員組合 中部支部 鳥取県教職員組合中部支部	採択 意見書提出	子どもたちの豊かな学びと教職員の働き方改革実現のため、教員定数の改善を推進し、義務教育費の国庫負担率を2分の1に復元すべきである。
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	原水爆禁止鳥取県協議会	採択 意見書提出	核兵器は人類に破滅的な結末をもたらす非人道的な兵器であることを認識し、条約を批准すべきである。
検察官の定年延長に係る閣議決定の撤回についての陳情	足羽 佑太	不採択	国の責任において十分に議論し判断すべきである。
日本国憲法第53条における臨時会召集について、法令等で召集期限を設定することを求める意見書の提出についての陳情	足羽 佑太	不採択	国において議論し判断すべきである。
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部	趣旨採択	教室確保や教職員増員ほか様々な問題を含み、速やかな対応は難しい。

## 次の世代につなぐ新しい町おこし

私の大好きな三朝町は、三朝温泉や国宝投入堂などの観光だけではなく、おいしい三朝米や神倉大豆などの特産品がある素晴らしい町です。

しかし、三朝町では現在、人口減少が問題となっています。人口減少を食い止め、解消するための手段として、三朝町内での雇用するチャンスを増やすことが重要であると考えます。そこで、コロナ禍で注目が高まっているテレワークを駆使した事業を行ってみるのはどうかと考えました。

先日ニュースで、東京で働いていた人が、テレワークに切り替え地方に移り住んだことや、東京に

あった企業が本社機能を地方に分散させたことが報じられていました。

三朝町では近々、町内全域で光ファイバーが導入されます。この機会に、情報通信関連産業、ICT企業の誘致を積極的にいき、三朝町内でのテレワークを推進することで、人口減少を抑制するとともに、三朝町の発展にもつながると思います。



三朝中学校3年  
芦田佳央理

## 議会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

## 12月定例会の日程予定（案）

会期 12月10日～12月18日  
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。

※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

## ～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

## &lt;お知らせ&gt; 議会報告会について

例年開催している議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は中止とさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

発行責任者 議長 清水 成眞  
編集 議会広報常任委員会  
委員長 松原 成利  
副委員長 藤井 克孝  
委員 山口 博  
委員 平井 満博  
委員 石田 恭二

近年、我が国は大地震動乱、気象錯乱の時代に入っている。大災害はすべての地域にとつて現実のリスクだ。しかし、それぞれの地域には、これまでの積み重ねの上に、防災へのハード・ソフト、住民意識があり、直ちに最先端の地区防災計画を取り入れてもすぐに形骸化するのではないかと。多少時間はかかっても住民の対話、計画作成・訓練・評価・改良を継続的に重ねる地区防災マネジメントを確立し、少しずつでも前進することが重要だ。地域を抜本的に変えられる貴重な機会である、災害後の復興を見据えた地区防災マネジメントは、地域の人とつながり、災害を克服する気概を与える。

（平井 満博 記）

